

第30回 花の国づくり共励会  
花き技術・経営コンクール  
受賞者の業績概要

令和3年1月

一般財団法人日本花普及センター

第30回花の国づくり共励会  
花き技術・経営コンクール 受賞者一覧表

【農林水産大臣賞】

今井 善圓 (いまい よしのぶ)

切り花 (バラ)

群馬県富岡市

【農林水産省生産局長賞】

森田 広幸 (もりた ひろゆき)

(有限会社バラ屋 代表取締役)

鉢物 (ミニバラ、ベリイ類、ヒイラギ、ハツユキカズラ)

愛知県知多郡武豊町

【一般財団法人日本花普及センター会長賞】

上野 周二 (うえの しゅうじ)

上野 登美子 (うえの とみこ)

切り花 (キク)

長崎県佐世保市

宇藤 康博 (うとう やすひろ)

(有限会社ウトウファーム 代表取締役)

切り花 (オリエンタルユリ、スターチス、ストック)

熊本県阿蘇郡高森町

## 第30回花の国づくり共励会（令和2年度）花き技術・経営コンクール

### 審 査 講 評

第30回花の国づくり共励会花き技術・経営コンクール受賞者の皆様方には心からお祝いを申し上げます。花き技術・経営コンクールは、花の国づくり都道府県協議会などより推薦がありました経営体について、6名の審査委員により、提出された書類並びに県などへの聞き取り調査に基づき厳正に行われました。なお、今年度は新型コロナウイルス（Covid19）蔓延の最中でもあることから、現地審査は行いませんでした。その結果、本共励会の最高賞である農林水産大臣賞には、次の経営体が選ばれました。

群馬県富岡市の今井善圓氏は、バラ切り花経営を営んでいます。昭和50年に高校卒業後、キュウリ農家での研修を経て昭和51年に就農し、施設キュウリ生産を始めました。その後、ガラス温室を活かす品目として収益性の高いバラに着目し、昭和63年より施設バラ栽培を開始しました。平成2年に土耕栽培からロックウール栽培への転換を進めると共に、積極的な規模拡大により、現在では1haを超える施設面積で切り花生産に取り組んでいます。

栽培面では、品種特性を理解した上で最後まで綺麗に咲ききるバラを目標に、昼夜の温湿度管理、炭酸ガス濃度管理、水分管理などに重点を置き、複合環境制御技術を実践することで収量・品質の向上を図っています。また、ヒートポンプエアコンによる燃料削減対策や環境負荷低減を目的とした病虫害防除技術の導入にも取り組んでいます。出荷・販売面では、市場関係者や全国のバラ生産者との人脈を駆使し、需要の動向について日頃から情報収集を行っており、他者との差別化を図り、市場に対して存在感をアピールすることで、注文数量の確保につなげています。雇用管理面では、出荷調整作業を冷房設備や保冷庫を完備したJA共同集出荷施設を利用することで労働負担を軽減し、また、従業員は地域内から確保することで、地域における雇用創出に貢献しています。

このように、バラ切り花経営において創意工夫により安定した生産・販売を維持していること、環境に配慮した生産を実施していること、過去3年間において出荷数量、経営収支とも安定していること、地域の花き生産振興に寄与していることなどが高く評価され、農林水産大臣賞に相応しい花き生産の模範となる経営体であると判断されました。

農林水産省生産局長賞に選ばれました次の経営体は、農林水産大臣賞に選ばれました経営体に収益性、あるいは、経営の安定性の上で僅かに及ばないものの、以下に述べる点で高く評価されました。

愛知県知多郡武豊町の森田広幸氏は、鉢物生産経営を営んでいます。昭和62年に農業大学校卒業後、ドイツにおいて花き及び野菜の研修を受け平成2年に就農しました。当初は実

家の営む水稲とミカンの複合経営を手伝う中でミニバラ栽培の研修を受け、平成4年に400坪のガラス温室でミニバラ生産を始めました。その後、温室などの施設を増設し規模拡大を図り、現在ではミニバラ生産に加えて、ヒイラギやハツユキカズラなどの鉢物生産に取り組んでいます。この間、平成9年には有限会社を設立して法人経営としています。

栽培面では、ミニバラ挿し木作業の簡略化、プールベンチによる循環式養液システム導入と移動ベンチシステムの利用、高圧ナトリウムランプ、LED灯、高圧細霧冷房装置、二酸化炭素発生装置などの先進技術導入による施設園芸の高度化などで、作業の効率化と高品質生産を実現しています。出荷・販売面では、ミニバラを主体とした安定生産と供給の徹底に努め、消費者に飽きられない新商品開発と情報収集に心掛けています。雇用管理面では、施設用地の平坦な整備と作業効率化に配慮した施設設計による労働負担の軽減と、コミュニケーションを大切にされた職場環境づくりに努めています。このように、鉢物生産に安定した経営を実現し、次代の農業の担い手育成にも積極的に取り組んでいることが評価されました。

一般財団法人日本花普及センター会長賞に選ばれました次の2経営体は、以下に述べる点で評価され本賞に値すると判断されました。

長崎県佐世保市の上野周二・登美子ご夫妻は、キク切り花経営を営んでいます。周二氏は、昭和60年に高校卒業と同時にキクの先進農家で栽培技術を学び、昭和61年に就農しました。平成4年に登美子氏と結婚し、夫婦でキク切り花の生産・出荷に取り組んでいます。平成7年に認定農業者、平成22年にエコファーマーの認定を受け、地域のリーダーとして輪ギク産地を牽引しています。栽培面では、長崎県版GAPを実践しながら周年を通した高品質切り花の安定生産を実現しています。出荷・販売面では、させぼ西海菊出荷組合の組合長として計画生産・計画出荷及び出荷規格の厳格化に向けたルールづくりの結果、取引市場からの評価も高まり、安定した価格での取引に結び付けることができます。また、常に市場との情報交換を行い、消費動向、消費ニーズなどの調査を行い品質、草姿の改善に役立っているほか、組織や個人で県外産地の視察を行い輪ギク栽培に活かせるよう努めています。雇用管理面では、無側枝性品種を導入してわき芽のみの労力を軽減するほか、直挿し栽培で労力削減を行っています。このように、キク切り花経営において安定した経営を実現し、地域農業の発展に貢献していることが評価されました。

熊本県阿蘇郡高森町の宇藤康博氏は、花き切り花経営を営んでいます。昭和60年に就農し、畜産と露地野菜の複合経営を経て、平成10年から花き専作経営を始めました。準高冷地の立地条件を活かし、台風の影響が小さいスターチスを軸に、オリエンタルユリ、ストックなど複数品目を栽培することで、気象災害や市場価格変動に対するリスク回避と周年出荷を両立しています。なお、平成13年には法人化により経営の充実を図っています。栽培面では、品質・収量の向上や労力軽減に有効な機器の導入などで栽培技術の改善に取り組んでいます。特に、土壌病害対策には気を配り、複数品目の輪作体系において灌水や塩類集積低減等、土壌環境の適正化に努めています。出荷・販売面では、市場と交流を深めることで最

新情報を早期に入手し販売戦略を立てています。また、複数品目を周年出荷することで市場要望に応え、高い信頼を得ています。更に、労働軽減や環境保全の推進に努めるほか、地域の各種委員を務めるなど地域社会活動にも貢献しています。このように、花き切り花経営において安定した経営を実現し、地域農業の発展に貢献していることが評価されました。

令和2年度は、日本社会全体が新型コロナウイルス (Covid19) に振り回された年でありました。一方、気象上では、例年に比べて上陸した台風による被害は多くはなかったものの、7月豪雨、寡日照、夏期の高温などで、花きに限らず多くの作物で生育不良や出荷への影響が懸念されました。そのような中で、今年度の審査会において推薦のあった多くの経営体が、栽培技術の高度化により生産効率を高めると共に、生産コストや環境負荷の低減に努める一方、消費者ニーズに合う品目・品種の選択、オリジナル品種の育成、あるいはブランド品目の育成など、新しい需要の開拓に力を注ぎ、着実な経営に腐心されていることに心強く感じました。新型コロナウイルス終息の兆しはまだ見えないものの、花き類の家庭内需要が復活しつつあることに消費の回復を願っています。このような中で、花き産業の健全な発展と心豊かな国民生活の実現に向けて、今後とも一層のご尽力を賜りますようお願いし、審査講評といたします。

令和3年1月19日  
審査委員長  
腰 岡 政 二

## 【農林水産大臣賞】

今井 善圓 群馬県富岡市

切り花（バラ）

今井善圓氏は、昭和50年に高校卒業後、埼玉県内のキュウリ農家で1年間研修を経て昭和51年に就農。既に他界していた父親は、米麦、養蚕、コンニャクの複合経営を営んでいたが、より収益性の高い新規品目として施設キュウリを選択し自らの経営を開始した。

昭和53年に、第二次農業構造改善事業により高瀬地区にガラス温室団地が造成されると、善圓氏は、そのうち1棟でキュウリの栽培を開始し、経営規模を拡大した。以後10年に渡り温室団地ではキュウリ栽培が行われたが、善圓氏をはじめとする生産者は、キュウリの収量や価格に限界を感じていた。そこで、昭和61年から2年間にわたりガラス温室を有効に活かす品目の検討・研修を実施し、より収益性の高い施設バラ栽培に着目、昭和63年春より5戸でバラ栽培を開始した。

現在、善圓氏は、妻の紀江氏、長女的美樹氏、美樹氏の夫で後継者の守氏と共に地域からの雇用を積極的に活用しながら施設バラの大規模経営を行っている。

また、平成2年よりそれまでの土耕栽培からロックウール栽培への転換に取組み、技術のメリットを發揮し、積極的な規模拡大により地域農業の維持に強い使命感を有している。

花きの栽培技術について特に工夫した点としては、複合環境制御技術を実践することで収量・品質の向上を図っていることである。栽培する各品種の特性を理解した上で「最後まで綺麗に咲ききるバラ」を目標に早朝から日中の温湿度管理・炭酸ガス濃度管理、日没前の水分管理、夜間温度の管理には、特に重点を置いている。

花きの出荷・販売については、豊富なバラ栽培の経験と市場関係者や全国のバラ生産者との人脈を駆使し、需要の動向について日頃から情報収集を行っており、他者との差別化を図り、市場に対して存在感をアピールし、注文数量の確保につなげている。

労働軽減や雇用管理等については、雇用者の労働負担軽減のため出荷調整作業は冷房設備や保冷庫を完備したJA共同集出荷施設を利用し、作業者とバラに優しい環境で出荷・選別作業を行っている。また、栽培管理は、主に善圓氏と後継者の守氏、出荷選別作業は、妻の紀江氏と娘の美樹氏が担い作業分担を明確化することにより作業の効率化を図っている。また、環境保全や省エネルギーについては、ヒートポンプエアコンの導入による燃料削減対策、環境負荷低減を目的とした病害虫防除技術の導入に取り組んでおり、更なる高収量・高品質化を図るため所属するメンバーと共に勉強会、検討会を行うなど日々研鑽をしている。



今井善圓氏 ハウスにて



ハウス内作業風景



出荷調整作業風景



細霧冷房装置



ハウス環境のモニタリング

## 【農林水産省生産局長賞】

**森田 広幸**（有限会社バラ屋 代表取締役）愛知県知多郡武豊町  
**鉢物（ミニバラ、ベリー類、ヒイラギ、ハツユキカズラ）**

森田広幸氏は、昭和58年から県立農業大学校において花き及び養鶏を学び、昭和62年からドイツにおいて花き及び野菜の研修を受け平成2年に帰国して就農した。就農当時は、両親の営む水稲とミカンの経営を手伝いながら、「施設花きは、作業を効率化すれば小規模でも経営が成り立つ。更に高設のベンチで栽培する鉢花なら作業者は腰を曲げることなく楽に作業が出来るため、雇用も活用しやすいのではないかと考えるに至った。両親に相談したところ「初期投資が大きい、技術習得に時間がかかる、経営が不安定等」の面から大反対された。両親の経営を手伝いながら平成4年3月まで岐阜県の（株）セントラルローズでミニバラ栽培の研修を受け、28歳の時ミカン畑の一角に温室を新設した。

森田氏は、計画的に施設を整備し、生産量が増加したことでミニバラ生産者としての知名度も高まり、取引業者数や注文鉢数も増加した。規模拡大に伴う生産量増加、多品種導入に伴う栽培管理の複雑化のため、より組織的な経営が必要となったことに加え、物日（母の日等）の注文集中等に対応するため雇用の確保も重要な課題となっていた。こうした課題に対応するためにも、対外的な信用度を上げることが必要と考え、平成9年8月1日法人経営を開始した。

花き栽培技術について特に工夫した点としては、（1）品目作型の選択と温室利用条件の設定、（2）環境に配慮したプールベンチによる循環式養液システム導入と移動ベンチシステムの利用、（3）ミニバラの挿し木作業の省力化、（4）施肥・かん水・病虫害防除作業の省力化と効率化、（5）積極的な先進技術の導入による施設園芸の高度化（高圧ナトリウムランプ、LED灯、高圧細霧冷房装置、二酸化炭素発生装置）、（6）ミニバラの豊富な品種構成と種苗費低減、（7）露地ほ場の利用によるミニバラ以外の品目導入と周年生産の実現等である。

花きの出荷・販売については、ミニバラを主体とした安定生産と供給に努めており、トレリスを用いたツルバラ鉢の商品化等絶えず消費者に飽きられない商品開発にも心掛けている。労働軽減や雇用管理等については、（1）平坦な施設用地整備と台車の利用、（2）作業効率化に配慮した施設設計、（3）雇用管理と従業員の教育等に留意しており、常に「働いて楽しい職場づくり」に心掛け、従業員から相談があった時には、すぐに具体的な指示を出すようにしている。また、環境保全や省エネルギーについては、ヒートポンプの導入（4棟）による重油使用量の削減、ミニバラの循環式養液栽培システムの利用による化学肥料削減と環境負荷低減に努めている。

森田氏は、数々の役職に就任し知多地域並びに県花き産業の発展に貢献しており、また、次代の農業の担い手育成にも積極的な支援を行っている。



関係者集合写真（左奥：森田 広幸氏 左前：森田 里奈氏）



整備された敷地



ミニバラ品種の一例  
「タマラ・コルダーナ」と「パール・コルダーナ」



ホワイトデー企画商品

## 【一般財団法人日本花普及センター会長賞】

上野 周二 上野 登美子 長崎県佐世保市

切り花（キク）

上野周二氏は、昭和60年高校卒業と同時に福岡県八女地区の先進農家でキクの栽培技術を学び、昭和61年に就農と同時にキク栽培を開始した。

上野登美子氏は、平成4年に周二氏と結婚し、キクの生産・出荷に取り組んでいる。

周二氏は、平成7年に認定農業者、平成22年にエコファーマーの認定を受けて平成23年から長崎県版GAPを実践しており、所属する生産部会の中核として新たな出荷市場の開拓を担い、地域でいち早く全自動選別結束機を導入するなど地域のリーダーとして輪ギクの産地を牽引している。

花き栽培技術について特に工夫した点としては、ヒートポンプを導入することで、高騰する燃料代を削減しながらも厳冬期における加温不足による生育不良を改善し、高品質切り花の安定生産につなげている。また、出荷の平準化を図るために複数のハウスで作型をずらしながら作付することで、周年を通して安定的に生産を行なうことができ、単価の安定につなげている。

循環扇を設置し生育ムラの発生と病害虫の発生を防止し、ほ場の占有期間の短縮と出荷本数の増加につなげている。更に、LED灯の導入、センチュウ対策としての土壌消毒、防虫ネット、花芽検鏡などに取り組んでいる。

花きの出荷・販売については、させぼ西海菊出荷組合の組合長として計画生産・計画出荷及び出荷規格の厳格化に向けて組織内におけるルールづくりに取り組んだ結果、取引市場からの評価も高まり、安定した価格での取引に結び付けることができている。更に取引市場の助言により、黄色品種を主体とした作付けを実践しており、他産地との差別化により有利販売を行っている。

また、常時市場との情報交換を行い、消費動向、消費ニーズ等の調査を行い品質、草姿の改善に役立っているほか、組織や個人で県外産地の視察を行い輪ギク栽培に活かせるよう努めている。なお、同一地域に小菊の出荷組織があり、同じキク類という共通点や組合員の重複があったことから、上野氏がリーダーとなって組合員を説得し、組織の統一がなされた。このことにより取引市場が拡大し、小菊との相乗効果により販売単価が向上している。

労働軽減や雇用管理等について特に工夫した点は、無側枝性品種「精の一世」を導入し、わき芽とりの労力を軽減しているほか、直挿しを行い育苗、定植作業の労力削減を行っている。環境保全や省エネルギーについては、土壌消毒による定植後に発生する病害虫発生の低減と減農薬、残渣のすき込み等を行っている。

今後は、省力化のために自走式防除機の導入、規模拡大に伴う労力不足を補うために農福連携の取り組みを検討している。



左から 上野 周二氏 上野 登美子氏



ハウス内収穫作業



花束加工作業



キク「精興光玉」栽培状況



就農当時に建設したハウスを大事に利用

## 【一般財団法人日本花普及センター会長賞】

**宇藤 康博**（有限会社ウトウファーム 代表取締役）熊本県阿蘇郡高森町  
切り花（オリエンタルユリ、スターチス、ストック）

宇藤康博氏は、昭和60年に就農し、畜産プラス露地野菜の経営を経て、ハウス施設を整備し花きの栽培を行い、スターチスを中心として規模拡大を図っている。

就農当初実家では、あか牛の肥育40頭と繁殖牛10頭を中心に、露地野菜もキャベツを2ha栽培していた。平成初期の阿蘇山の噴火により露地野菜に甚大な被害を受けたことから、降灰対策事業を利用してハウス施設を整備し、花きの施設栽培に品目転換を行った。平成10年には畜産をやめ、花き栽培に専念することにした。

花きの品目は、台風の影響が小さいスターチスを軸に、オリエンタルユリ、ストック等複数品目を栽培、気象災害や市場価格変動に対するリスク回避と周年出荷を両立している。なお、規模拡大を行うに当たり栽培管理への注力と経営管理の両立が困難になってきたため、税理士の支援をもらいながら平成13年に法人化し経営の管理を充実させ、夫婦は栽培管理に専念している。

花き栽培技術について特に工夫した点としては、準高冷地の立地条件を活かし、暖地と高冷地の出荷端境期をねらった品種の選定を行うと共に、常に品質・収量の向上、労力軽減を目指し栽培技術の改善と有効な機器の導入に取り組んでいる。特に、土壌病害対策に気を配っており、土壌燻煙剤による消毒はもちろんのこと、複数品目の輪作体系において品目毎にメリハリのあるかん水を行い、塩類集積を低減すると共に、土壌分析に基づく施肥により土壌環境の適正化に努め、根痛みを回避している。

また、花きの出荷・販売については、出荷市場へ頻繁に出向き交流を深めることで最新情報を早期に入手し販売戦略を立てている。

労働軽減については、ユリの安定生産には球根の深植えが必要であるが、定植時の労力が大きいため、定植用の溝掘機（アタッチメント）が球根の深植えに有用であることを知り導入を行った。定植時の溝掘、球根配置、覆土といった作業体系の改善を行ったことで、大幅な省力化と共に均一な深植えが可能となり、品質・収量の向上につながった。また、コンテナを多く使う球根運搬作業は、重労働となっていたが台車を導入することで省力化につながり、奥さん（真理恵氏）に高評価を得ている。

環境保全や省エネルギーについては、土壌分析に基づく施肥、品目ごとにメリハリのあるかん水、土壌燻煙による雑草発生の抑制を行っている。

宇藤氏は、認定農業者の副会長やJA阿蘇高森花卉部会長を務めると共に消防団活動等や過去には町議会議員を務めるなど地域社会活動にも貢献している。



左から 宇藤 康博氏 宇藤 真理恵氏



ストックの播種作業



溝掘機



オリエンタルユリ



ストック



スターチス

(参考資料1)

花の国づくり共励会 花き技術・経営コンクール受賞者一覧

回(年度)	受賞区分	都道府県	受賞者名	生産品目	備考
29回(令和元2年度)	農林水産大臣賞	群馬県	今井 善圓	バラ(切り花)	
29回(令和元2年度)	生産局長賞	愛知県	森田 広幸(有限会社バラ屋 代表取締役)	ミニバラ、ペリー類、ヒイラギ、ハツユキカズラ(鉢物)	
29回(令和元2年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎県	上野 周二 上野 登美子	キク(切り花)	
29回(令和元2年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	熊本県	宇藤 康博 (有限会社ウトウファーム 代表取締役)	オリエンタルユリ、スターチス、ストック(切り花)	
29回(令和元年度)	農林水産大臣賞	埼玉県	山下 徳弥	パンジー、ピオラ、ポットマム、ペチュニア、ニチニチソウ、カリブラコア、ラベンダー、ダイアンサス、ハボタン、チューリップ等(苗物・鉢物)	第59回農林水産祭 天皇杯受賞
29回(令和元年度)	生産局長賞	岐阜県	古川 正敏	ミニバラ、ハボタン、多肉植物、松盆栽、等(苗物・鉢物)、ハーバリウム	
29回(令和元年度)	生産局長賞	愛知県	西三河農業協同組合デルフィニウム部会 (代表者名 尾崎 満)	シネンシス系デルフィニウム(切り花)	
29回(令和元年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎県	本多 博樹 本多 洋子	キク(切り花)	
28回(30年度)	農林水産大臣賞	愛知県	高橋 成治	セダム、エケベリア等300種、グリーンネックレス	
28回(30年度)	生産局長賞	埼玉県	清水 秀一	ヘデラ、キツタ、テイカカズラ等、緑化ユニット	
28回(30年度)	生産局長賞	大阪府	JA大阪泉州花卉生産出荷部会 (代表者名 奥 安則)	アイリス、グラジオラス、リアトリス、ユリ、ケイトウ、フリージア	
28回(30年度)	生産局長賞	福岡県	南里 優 南里 美紀	コチョウラン	
28回(30年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	佐賀県	武富 政敏	トルコギキョウ、スイートピー、シンテップウユリ	
28回(30年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎県	開田 浩幸 開田 陽子	カーネーション、コギク、ハボタン	
27回(29年度)	農林水産大臣賞	岐阜県	戸崎 明	ユリオブスデージー、フランネルフラワー、ジャスミン、ブルーデージー、スノーサンゴ、ノボタン(鉢物)	
27回(29年度)	農林水産大臣賞	愛知県	藤目 方敏	キク、スプレーギク(切り花)	
27回(29年度)	生産局長賞	栃木県	角田 盛一	スイートピー、ヒマワリ、ユウカリ等(切り花)	
27回(29年度)	生産局長賞	埼玉県	須永 健司 須永 菜穂美	ガザニア、オステオスペルマム、ブルーデージー、ゴールドコイン、ブラキカム、マーガレット、オキザリス、パンジー・ピオラ、マリーゴールド、ニチニチソウ、ペチュニア、アレナリア等(鉢物・苗)	
27回(29年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	佐賀県	徳永 憲昭	コチョウラン(鉢物・苗)	
27回(29年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎県	森 敏朗 森 千佳子	キク(切り花)	
26回(28年度)	農林水産大臣賞	愛知	曾田 義則	サボテン類、アロエ、エケベリア、カランコエ、クラッスラ、セダム、ハオルチア、ユーフォルビア等(鉢物)	
26回(28年度)	農林水産大臣賞	福岡	坂本 和盛	シクラメン、アジサイ、バラ(鉢物)	
26回(28年度)	生産局長賞	埼玉	篠 太一	ポインセチア、マリーゴールド、インパチェンス、ノースポール(鉢物・苗物)	
26回(28年度)	生産局長賞	岐阜	白木 裕人	ヤブコウジ、ブルーベリー等(鉢物・苗物)	
26回(28年度)	生産局長賞	熊本	五蘭塾(塾長 中川圭太)	オンシジウム、ファレノプシス、エビデンドラム、デンファレ等(切り花・鉢物)	
26回(28年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎	丸田 浩行	キク(切り花)	
25回(27年度)	農林水産大臣賞	埼玉	萩原 幸一	ケイトウ、ポインセチア、プリムラ、アップルゴーヤ、縄文ネギ(鉢物・花壇苗)	
25回(27年度)	農林水産大臣賞	愛知	近藤 晴義	ガーデンバラ苗、ミニツルバラ(鉢物・花苗)	
25回(27年度)	生産局長賞	福島	佐藤 幸一 佐藤 朝子	シクラメン、アジサイ、ユリ、チューリップ、カーネーション(鉢物)	
25回(27年度)	生産局長賞	佐賀	平田 憲市郎 平田 志緒梨	カーネーション(切り花)	
25回(27年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	岩手	岩手ふるさと農協園芸部会りんどう専門部 (代表者 鈴木 喜一)	リンドウ(切り花)	
25回(27年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	広島	有田 隆則	パンジー、ピオラ、マリーゴールド、ペチュニア、ニチニチソウ(花壇苗)	
25回(27年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎	お花屋さん百花園有限会社 代表 渡邊 徳昭	キク(切り花)	

24回(26年度)	農林水産大臣賞	岩手	新岩手農業協同組合 八幡平花卉生産部会 (代表者 高村敏彦)	リンドウ(切り花・鉢物)	第54回農林水産祭 天皇杯受賞
24回(26年度)	農林水産大臣賞	埼玉	朝見 良治	ガーデンシクラメン、ポットカーネーション、イペリス、 ランチュラス、ペラルゴニウム、ポインセチア、ニチ ニチソウ、クロサンドラ、カラー、プリムラ等(鉢物・苗 物)	
24回(26年度)	生産局長賞	愛知	梶 孝光	コギク(切り花)	
24回(26年度)	生産局長賞	福岡	豊田 武 豊田 千代子	キク、トルコギキョウ、アスター等(切り花)	
24回(26年度)	生産局長賞	長崎	前田 耕一 前田 綾子	シキミ等(切葉)	
24回(26年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	岐阜	島部 勝昌	エラチオールペゴニア(鉢物)	
23回(25年度)	農林水産大臣賞	山形	大築 義雅 大築 実千代	ミニシクラメン、カーネーション、ハボタン、その他花 苗(鉢物・苗物)	
23回(25年度)	農林水産大臣賞	埼玉	フカヤスリーエフクラブ (代表者 関和勝宏)	ユリ(切り花)	
23回(25年度)	生産局長賞	岩手	坂戸 明夫 坂戸 チヨ	リンドウ(切り花)	
23回(25年度)	生産局長賞	愛知	荒木 祥充	アンスリウム、フィロデンドロン、アナナス類、カラテ ア、ヘリコニア、シダ類等(鉢物)	
23回(25年度)	生産局長賞	長崎	吉塚 正弘 吉塚 友子	カーネーション、ガーベラ(切り花)	
23回(25年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	岐阜	高橋 明利	ガーベラ(切り花)	
23回(25年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	福井	JAテラル越前キク部会 (代表者 三浦慶昭)	コギク、リングク(切り花)	
22回(24年度)	農林水産大臣賞	福島	有限会社矢祭園芸 代表金澤 善浩	カーネーション、シクラメン、シュウメイギク、プリムラ ポリアンサ、プリムラマラコイデス等(鉢物・苗物)	
22回(24年度)	農林水産大臣賞	愛知	株式会社豊楽園 (取締役会長 齋藤豊治) (代表取締役社長 齋藤健治)	フィロデンドロン、フィットニア、ブミラ、ワイヤープラン ツ、シンゴニウム、ベベロミア等(鉢物)	
22回(24年度)	生産局長賞	福岡	花田 哲治 花田 泰子	バラ、ユリ(切り花)	
22回(24年度)	生産局長賞	沖縄	新垣 進	コギク(切り花)	
22回(24年度)	生産局長賞	石川	金沢市砂丘地集出荷場 フラワー部会	ストック、切り花ハボタン、フリージア(切り花)	
22回(24年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	坂井 浩一郎	キク(切り花)	
22回(24年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	いわい東農業協同組合 花き部会小菊専門部	コギク(切り花)	
21回(23年度)	農林水産大臣賞	佐賀	小柳 誠五 小柳 一枝	ユリ(切り花)	
21回(23年度)	生産局長賞	神奈川	有限会社五領ヶ台ガーデン (代表取締役 窪田敬一)	シクラメン、ニューギニアインパチエンス、ナスタ チューム、プリムラジュリアン等(鉢物)	
21回(23年度)	生産局長賞	愛知	稲垣 長太郎	カーネーション(切り花)	
21回(23年度)	生産局長賞	長崎	有限会社金原園芸 (代表取締役 金原由紀男)	キク(切り花)	
21回(23年度)	生産局長賞	熊本	坂崎 改輝 坂崎 久子	シュコンカスミソウ(切り花)	
21回(23年度)	(財)日本花普及センター会長賞	埼玉	吉澤 明弘	シクラメン、ハイビスカス、オステオスペルマム、ピオ ラ、クリサンセマム等(鉢物)	
21回(23年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	牛島 博文	ガーベラ(切り花)	
21回(23年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	JAひだ花弁出荷組合 菊部会 (代表者 野谷智樹)	キク(切り花)	
20回(22年度)	農林水産大臣賞	埼玉	有限会社横川花園 代表取締役横川保次	ユリ、チューリップ、ギボウシ等(鉢物)	
20回(22年度)	生産局長賞	岐阜	河合 修	アルストロメリア(切り花)	
20回(22年度)	生産局長賞	福岡	安田 克徳 安田 節子	サカキ、花桃、ニューサイラン、しめ縄、門松、松竹 梅等(花木・枝物類)	
20回(22年度)	生産局長賞	長崎	山口 政則 山口 和代	カーネーション(切り花)	
20回(22年度)	(財)日本花普及センター会長賞	愛知	伊藤 正規	シンビジウム、コチョウラン、ミルトニア(鉢物洋らん 類)	
19回(21年度)	農林水産大臣賞	埼玉	塩原 茂夫	アジサイ、ポインセチア(鉢物)	
19回(21年度)	農林水産大臣賞	大分	有限会社お花屋さんぶんご清川 代表取締役社長 小久保恭一	リングク(切り花)	第49回農林水産祭 天皇杯受賞
19回(21年度)	生産局長賞	宮城	石巻農業協同組合 花卉部会ガーベラ班	ガーベラ(切り花)	
19回(21年度)	生産局長賞	愛知	榎田 倉司	リングク(切り花)	
19回(21年度)	生産局長賞	大阪	梶本 定敏	ユリ、アイリス等(球根切り花)	

18回(20年度)	農林水産大臣賞	愛知	小松 英雄	アンスリーム(鉢物)	
18回(20年度)	農林水産大臣賞	福岡	浜野 重登 浜野 明美	バラ(切り花)	
18回(20年度)	生産局長賞	埼玉	安藤 貢	アガパンサス等(苗物)	
18回(20年度)	生産局長賞	岐阜	有限会社サンコフ	セントポーリア等(鉢物)	
18回(20年度)	生産局長賞	大阪	稲治 義彦	ジャクヤク等(露地花き)	
18回(20年度)	生産局長賞	長崎	柴田 定實 柴田 高子	キク(切り花)	
18回(20年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	石井 克明	バラ(切り花)	
17回(19年度)	農林水産大臣賞	埼玉	黒田 秀之	コチョウラン(鉢物)	
17回(19年度)	農林水産大臣賞	岐阜	吉田 正博	ガーベラ等(鉢物)	
17回(19年度)	生産局長賞	千葉	平野 圭祐	アンスリウム(切り花)	
17回(19年度)	生産局長賞	神奈川	加藤 悟	シンビジウム(鉢物)	
17回(19年度)	生産局長賞	愛知	平野 和美 平野 照美	ポインセチア等(鉢物)	
17回(19年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	石橋 正基	カーネーション(切り花)	
16回(18年度)	農林水産大臣賞	千葉	丸朝園芸農業協同組合 花卉部 (部長)飯高 重雄	サンダーソニア等(切り花)	
16回(18年度)	農林水産大臣賞	福岡	空閑 善実 空閑 柱子	パンジー等(苗物)	
16回(18年度)	生産局長賞	鹿児島	サンライズグリーンヒル 観葉生産組合 (代表者 福留 健一)	オーガスタ等(観葉植物)	
16回(18年度)	生産局長賞	愛知	伊藤 勝久	シクラメン等(鉢物)	
16回(18年度)	生産局長賞	長崎	立石 俊一	バラ(切り花)	
16回(18年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	澤瀬 一男 澤瀬 ロシタ	コギク等(切り花)	
16回(18年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大阪	樋口 喜善	パンジー等(苗物)	
16回(18年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	真子 徳幸	キク(切り花)	
15回(17年度)	農林水産大臣賞	埼玉	田島 嶺	ガーデンシクラメン(苗物)	
15回(17年度)	生産局長賞	群馬	小倉 文雄	シクラメン等(鉢物)	
15回(17年度)	生産局長賞	愛知	内藤 完次	バラ(切り花)	
15回(17年度)	生産局長賞	長崎	JA杵崎市花き部会 (代表者)下條利一	コギク等(切り花)	
15回(17年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	高木 兼雄	スパティヒラム(鉢物)	
15回(17年度)	(財)日本花普及センター会長賞	沖縄	玉城 昌伸	キク(切り花)	
15回(17年度)	(財)日本花普及センター会長賞	沖縄	蔵下 良彦	キク(切り花)	
14回(16年度)	農林水産大臣賞	東京	八丈島農業振興青年研究会 鉢物部会 (代表者)大沢猛邦	フェニックス等(鉢物)	
14回(16年度)	農林水産大臣賞	岐阜	株式会社西垣園芸 西垣 正俊	オステオスペルマム(苗物)	
14回(16年度)	生産局長賞	宮城	株式会社ハニーローズなんごう (代表者)楢山 恒雄	バラ(切り花)	
14回(16年度)	生産局長賞	愛知	株式会社H&Lプランテーション 鶴飼 敏之 鶴飼 浩	パンジー等(苗物)	
14回(16年度)	生産局長賞	福岡	高橋 三千年 高橋 節子	バラ(切り花)	
14回(16年度)	生産局長賞	鹿児島	小村 幸一	パキラ等(観葉植物)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大阪	神藤 正和	ハボタン等(苗物)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大阪	谷岸 隆雄	ハナモモ等(切り枝花木)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	徳島	尾崎 進一郎	シンビジウム(鉢物)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	松永 宏隆	ユリ(切り花)	

14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	JA東長崎菊部会 (代表者)松尾 修一	キク(切り花)	
13回(15年度)	農林水産大臣賞	徳島	有限会社岸本農園 岸本 昇 岸本ときこ	ハイビスカス等(鉢物)	
13回(15年度)	農林水産大臣賞	鹿児島	有限会社南原農園 南原 武博	ジャスミン等(切り花)	
13回(15年度)	生産局長賞	岐阜	有限会社白木園芸 白木 和彦 白木ふさ子	レッドロビン等 (洋蘭・観葉植物)	
13回(15年度)	生産局長賞	佐賀	宮崎 憲治	スイトピー等(切り花)	
13回(15年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	JAひだ花卉出荷組合 益田支部(代表者)中川 剛	キク等(切り花)	
13回(15年度)	(財)日本花普及センター会長賞	愛知	山田 則明	カーネーション等(切り花)	
13回(15年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	緒方 久幸	ガーベラ(切り花)く	
13回(15年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	西海菊出荷組合 (代表者)川内 通良	キク(切り花)	
12回(14年度)	農林水産大臣賞	愛知	石井 義明	アルストロメリア(切り花)	第42回農林水産祭 内閣総理大臣賞受賞
12回(14年度)	生産局長賞	埼玉	成澤 勝司	マリーゴールド(苗物)	
12回(14年度)	生産局長賞	鹿児島	柴崎 喜好	アイビー等(切り花)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	石川 正樹 石川 結花	ユリ(切り花)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	川端 芳彦 川端 葉子	ユリ等(切り花)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	香川	稲田 良弘	コチョウラン(鉢物)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	香川	小西 幸彦	マツ(盆栽)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	徳永 健史	コチョウラン(切り花・鉢物)	
11回(13年度)	農林水産大臣賞	埼玉	小林 滋幸	カラコエ((鉢物)	
11回(13年度)	農林水産大臣賞	長崎	JA北高電照菊研究会 (代表者)大谷 虎次	キク(切り花)	
11回(13年度)	生産局長賞	埼玉	田中 勲	シクラメン等(鉢物)	
11回(13年度)	生産局長賞	岐阜	河野 鉄博 河野 常子	ランキュラス等(切り花)	
11回(13年度)	生産局長賞	愛知	林 富造 林 房子	シンビジウム(鉢物)	
11回(13年度)	生産局長賞	佐賀	菖蒲 正行	トルコギキョウ等(切り花)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	中辻 栄治	キク(切り花)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	広島	石田 律恵	レースフラワー等(切り花)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	徳島	阿部 雅志	シンビジウム(鉢物)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	香川	森 崇	バラ(切り花)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	高壺 義邦	ユリ等(切り花)	
10回(12年度)	農林水産大臣賞	岐阜	大西 隆	ミニバラ(鉢物)	第40回農林水産祭 天皇杯受賞
10回(12年度)	農林水産大臣賞	鹿児島	沖永良部花き流通センター (代表者)泉 貞吉	テッポユリ等(切り花)	
10回(12年度)	生産局長賞	群馬	林 康夫	シクラメン等(鉢物)	
10回(12年度)	生産局長賞	香川	農事組合法人香花園 (代表者)保坂重雄	カーネーション(切り花)	
10回(12年度)	生産局長賞	大分	有限会社メルヘンローズ (代表者)小畑和敏	バラ(切り花)	
10回(12年度)	生産局長賞	沖縄	玉城 哲弘	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	谷藤 幸子	リンドウ等(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	山梨	農事組合法人 白根フラワーコーポラティブ	インパチェンス等(鉢物)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	愛知	伊奈 義就	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	徳島	宮脇 孝	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	香川	藤本 傳夫	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	中園 英治	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	江頭 富春	カーネーション等(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	鹿児島	富田 良成	バラ(切り花)	
9回(11年度)	農林水産大臣賞	埼玉	奥富 良雄	チューリップ等(苗物)	
9回(11年度)	農林水産大臣賞	愛知	角田 隆幸	ハボタン等(苗物)	第39回農林水産祭 内閣総理大臣賞受賞
9回(11年度)	農産園芸局長賞	宮城	宮城県南三陸農業協同組合 花き部会	キク(切り花)	
9回(11年度)	農産園芸局長賞	山梨	渡辺 喜市	サンダーソニア等(切り花)	

9回(11年度)	農産園芸局長賞	滋賀	小杉 長男	シクラメン等(鉢物)	
9回(11年度)	農産園芸局長賞	沖縄	大城 清利	キク(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	菅原 武男	リンドウ(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	栃木	田代 正行	カーネーション(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	埼玉	木村 実	バラ(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長野	中村 元夫	ディフィニウム等(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	吉川 公彦	キク等(花苗)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	徳島	朝海 常祐	キク(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	高尾 保徳	ゴールドクレスト等(花木)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	小嶺 敏博	コウチョウラン等(鉢物)	
8回(10年度)	農林水産大臣賞	岐阜	間宮 敏昭	ハイビスカス等(鉢物)	
8回(10年度)	農林水産大臣賞	福岡	井上 茂之	トルコギキョウ等(切り花)	
8回(10年度)	農産園芸局長賞	埼玉	戸谷 武雄	シュッコナスター(切り花)	
8回(10年度)	農産園芸局長賞	静岡	服部 一夫	クルクマ等(鉢物)	
8回(10年度)	農産園芸局長賞	京都	清水 幸雄	ケンガイキク(鉢物)	
8回(10年度)	農産園芸局長賞	長崎	鹿山 雅勝	カーネーション等(切り花)	
8回(10年度)	(財)日本花普及センター会長賞	新潟	渡邊 和芳	ユリ(切り花)	
8回(10年度)	(財)日本花普及センター会長賞	三重	松尾 廣文	シクラメン等(鉢物)	
8回(10年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	吉本 利郎	バラ(切り花)	
7回(9年度)	農林水産大臣賞	宮城	平間 久義	ハーブ等(苗物)	
7回(9年度)	農林水産大臣賞	静岡	とびあ浜松農業協同組合 PCガーベラ販売部会	ガーベラ(切り花)	第37回農林水産祭 天皇杯受賞
7回(9年度)	農産園芸局長賞	青森	竹ノ原幸悦	カーネーション等(切り花)	
7回(9年度)	農産園芸局長賞	埼玉	立石 勝義	ポインセチア等(鉢物)	
7回(9年度)	農産園芸局長賞	福岡	南嶋精二郎	ペゴニア等(苗物)	
7回(9年度)	農産園芸局長賞	長崎	本田 敏秀	カーネーション等(切り花)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	フローラぎふOKI	カラッコエ(鉢物)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	月本 雅治	バラ(切り花)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	兵庫	中岡 邦康	カーネーション(切り花)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大分	市川 一清	スイートピー等(切り花)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	沖縄	渡久山 稔	キク(切り花)	
6回(8年度)	農林水産大臣賞	栃木	菱沼 軍次	シクラメン等(鉢物)	
6回(8年度)	農林水産大臣賞	静岡	大庭 孝史	パキラ等(観葉植物)	
6回(8年度)	農産園芸局長賞	埼玉	新 博之	カラッコエ等(鉢物)	
6回(8年度)	農産園芸局長賞	京都	寺内 一郎	パンジー等(苗物)	
6回(8年度)	農産園芸局長賞	福岡	大隈 博幸	バラ等(切り花)	
6回(8年度)	農産園芸局長賞	沖縄	外間 勝義	キク等(切り花)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	宮城	斉藤 達義	シクラメン等(鉢物)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	群馬	小嶋 宏	バラ(切り花)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	安保 幹太	シンビジウム等(鉢物)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	堀田 泰規	プリムラ等(苗物)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	高知	広岡 稔	アイリス等(切り花)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	高知	小池 龍善	キク等(切り花)	
5回(7年度)	農林水産大臣賞	岐阜	福田 誠	セントポーリア等(苗物)	
5回(7年度)	農林水産大臣賞	福岡	波佐間 廣美	ディフェバキア等(観葉植物)	
5回(7年度)	農産園芸局長賞	群馬	萩原 久雄	シクラメン等(鉢物)	
5回(7年度)	農産園芸局長賞	埼玉	千野 純一	インパチェンス等(鉢物)	
5回(7年度)	農産園芸局長賞	大分	飯田花き生産組合 (代表)時松 謙	バラ等(切り花)	
5回(7年度)	農産園芸局長賞	沖縄	宮平 憲勇	キク(切り花)	

5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	宮城	手島 徹	シクラメン等(鉢物)	
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長野	金本 達夫	バラ(切り花)	
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	矢野 伸太郎	ストック(切り花)	
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	多田 護	ペニカナメモチ(植木)	
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	水田 義雄	キク(切り花)	
4回(6年度)	農林水産大臣賞	宮城	渡辺 俊	シクラメン等(鉢物)	
4回(6年度)	農林水産大臣賞	埼玉	金子 正	カラジューム等(鉢物)	
4回(6年度)	農産園芸局長賞	群馬	中山 忠義	洋ラン(切り花・鉢物)	
4回(6年度)	農産園芸局長賞	福岡	和佐野 喜代太	コチョウラン等(鉢物)	
4回(6年度)	農産園芸局長賞	佐賀	中江 広域	キク(切り花)	
4回(6年度)	農産園芸局長賞	大分	志賀 智貴	ユリ(切り花)	
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	木村 勇一	プラグ苗等(苗物)	
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	林 一郎	ポインセチア等(鉢物)	
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	明崎 勝治	ダリア等(切り花・球根生産)	
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	町田 一弘	スイピー等(切り花)	
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞	鹿児島	利田 正明	カーネーション等(切り花)	
3回(5年度)	農林水産大臣賞	茨城	鈴木 隆	ハウズキ等(鉢物)	
3回(5年度)	農林水産大臣賞	沖縄	龜谷 英雄	キク等(切り花)	
3回(5年度)	農産園芸局長賞	秋田	三浦 康之	トルコギキョウ等(切り花)	
3回(5年度)	農産園芸局長賞	群馬	小内 敬一	アジサイ等(鉢物)	
3回(5年度)	農産園芸局長賞	埼玉	矢作 文夫	カトレア等(鉢物)	
3回(5年度)	農産園芸局長賞	高知	山崎 廣美	ユリ等(切り花)	
3回(5年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	森島 衛樹	ハナショウブ等(切り花)	
3回(5年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	吉川 喜一	シクラメン等(鉢物)	
3回(5年度)	(財)日本花普及センター会長賞	広島	沖野 高人	(花木)	
3回(5年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	田代 恒夫	バラ等(切り花)	
2回(4年度)	農林水産大臣賞	栃木	渡辺 武雄	コチョウラン等(鉢物)	
2回(4年度)	農林水産大臣賞	静岡	渡辺 偉	クレマチス等(苗物)	
2回(4年度)	農産園芸局長賞	岩手	島山 正徳	リンドウ等(切り花)	
2回(4年度)	農産園芸局長賞	群馬	大沢 憲一	バラ(切り花)	
2回(4年度)	農産園芸局長賞	東京	浅沼 一治	フェニックス等(鉢物)	
2回(4年度)	農産園芸局長賞	福岡	和佐野勝次	リンドウ等(切り花)	
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	埼玉	町田 静吾	バラ(切り花)	
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長野	竹内 栄一	バラ(切り花)	
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	今村 喜和	キク等(切り花)	
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	吉村 隆明	インパチェンス等(鉢物)	
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大分	藤原 博文	キク(切り花)	
1回(3年度)	農林水産大臣賞	岩手	猿子 恵久	アルストロメリア等(切り花)	
1回(3年度)	農林水産大臣賞	埼玉	本多 忠夫	シクラメン等(鉢物)	
1回(3年度)	農産園芸局長賞	栃木	菱沼 軍次	シクラメン等(鉢物)	
1回(3年度)	農産園芸局長賞	群馬	坂本 正次	アジサイ等(鉢物)	
1回(3年度)	農産園芸局長賞	長野	筒井 基博	シクラメン等(鉢物)	
1回(3年度)	農産園芸局長賞	岐阜	河本 弘元	バラ(切り花)	
1回(3年度)	(財)日本花普及センター会長賞	静岡	岩倉 廣治	(観葉植物)	
1回(3年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	岡岡 義清	カキツバタ(切り花)	
1回(3年度)	(財)日本花普及センター会長賞	広島	中本 博文	ハボタン等(苗物)	
1回(3年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大分	時松 謙	バラ等(切り花)	

## (参考資料2)

# 第30回花の国づくり共励会 花き技術・経営コンクール実施要領

### 1. 目的

我が国の園芸の将来を担い、かつ国民生活に潤いと安らぎをもたらすものとして重要な役割を担っている花きについて、生産分野の技術・経営の向上・発展を図ることを目的とする。

### 2. 開催団体

- (1) 主催 一般財団法人日本花普及センター
- (2) 後援 農林水産省
- (3) 協賛 一般社団法人日本花き生産協会  
一般社団法人日本花き卸売市場協会  
一般社団法人全国農業改良普及支援協会

### 3. 出品資格

露地花きにあつては栽培面積が1ha以上、施設花きにあつては栽培面積が50a以上の花き生産を主とする農業者等であつて、技術・経営に優れ、地域社会に支持と共感を得ているものとする。

### 4. 出品方法

出品は、自薦、他薦を問わず、「花の国づくり共励会－花き技術・経営コンクール応募用紙」に所定の事項を書き込み、それに基づく経営及び活動の記録等の必要な資料を添付して提出する。

### 5. 審査方法

- (1) 予備審査  
一般財団法人日本花普及センターは、自薦、他薦を問わず応募用紙が提出された出品財について、書類審査等により本審査の対象となる出品財を選考する。
- (2) 本審査  
付属資料2の審査委員は、付属資料1の審査基準に基づき書類審査、必要に応じて現地調査を実施して、公正な審査を行う。

### 6. 表彰

- (1) 特に優秀と認められた出品財に対して農林水産大臣賞（2点）、優秀と認められた出品財に対して生産局長賞（4点）、一般財団法人日本花普及センター会長賞（数点）をそれぞれ授与する。

(2) 農林水産大臣賞出品財は、国の定める「農林水産祭表彰要領」に基づき天皇杯等の選賞資格を有する。

(3) 次に掲げる基準のいずれかに該当し、かつ経営主の配偶者の貢献度が高いと認められる場合にあっては、夫婦連名で表彰することができる。

但し、農林水産祭参加行事の農林水産大臣賞並びに生産局長賞に限る。

① 家族経営協定を締結していること。

② 推薦書等において経営主の配偶者の作業分担、従事日数等が概ね5割に達していると確認できること。

③ 農業改良普及センターなどの現場指導組織による意見書が添付されていること。

なお、推薦の段階で夫婦連名であるものについては、一般財団法人日本花普及センター会長賞についてもこれに準ずる。

## 7. 事務局

標記コンクールを実施するため、事務局を一般財団法人日本花普及センター内に設置する。

## 8. 開催日程

- |            |   |
|------------|---|
| (1) 出品募集期間 | 令和2年7月25日～10月30日  |
| (2) 予備審査   | 令和2年11月   |
| (3) 本審査    | 令和2年12月8日(火)<br>エッサム神田1号館 9階プレゼンルーム902号室<br>※Zoomによるリモート審査会 |
| (4) 受賞者発表  | 令和3年1月19日(火) 16:00～   |

(付属資料1)

花き技術・経営コンクール審査基準

- 1 立地条件を活かした合理的、安定的な経営であること
- 2 経営に計画性と展望をもち、近代化、拡大化の方向をたどっていること
- 3 消費動向を的確にとらえ、消費者ニーズに応える経営を行っていること
- 4 栽培技術は、科学的基礎に基づき、その水準が高く優れ、改善意欲が盛んなこと
- 5 生産基盤の整備、資本整備の投資がかなり行われ、その利用効率が高いこと
- 6 土地利用及び労働力利用が合理的であること
- 7 生産性が高く所得が水準以上と認められること
- 8 労働軽減等により、ゆとりある農業を実現していること
- 9 環境保全に対する工夫や配慮が見られること
- 10 国際化対応を考慮した経営がなされていること

(付属資料2)

第30回(令和2年度)花き技術・経営コンクール審査員名簿

氏名	所属・役職
腰岡 政二	公益財団法人 日本植物調節剤研究協会 理事
土井 元章	京都大学大学院 教授
河野 恵伸	国立大学法人 福島大学 農学群食農学類農業経学コース 教授
長村 智司	一般社団法人フラワースサイエティ 会長
岡本 正夫	一般社団法人日本花き生産協会 顧問
長岡 求	株式会社フラワーオークションジャパン 専務取締役

## 第30回花の国づくり共励会

### 花き技術・経営コンクール受賞者の業績概要

令和3年1月発行

編集・発行 一般財団法人日本花普及センター

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-17 山一ビル4階

TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743

e-mail : [jfpc@jfpc.or.jp](mailto:jfpc@jfpc.or.jp) URL : <http://www.jfpc.or.jp>



いいこと  
あった日、  
花を買う。

花っていいよね。キャンペーン